

3月	豊川 愛護モニター報告	モニター区間	豊川:左右岸 吉田大橋～当古橋
			管轄出張所:豊川出張所
実施日	令和2年3月31日	実施区間	当古橋周辺



当古橋上の樹木群は昨年、高域にわたって伐採されました。その後初めての春景色に驚いています。素晴らしい菜の花畑です。河川敷の樹木は河川内の流水阻害や洪水時に水位上昇を抑える目的と理解していますが、思わぬ副産物です。国土交通省の粋な計らいか、上流から種が流れ着いたのか、どちらでしょうか？ 四万十川では、約1000万本の菜の花畑になり、物産展やコンサートが開かれ、地域復興に役立っているとの話も聞きました。ゴミの投棄も減ると良いですね。



当古水位流量観測所の風景です。看板に氾濫注意水位 4.70m、計画水位 7.62、観測塔の壁面に既往最大水位 S34.9.27 洪水 6.56m と記されています。観測塔の壁面の表示は剥げてとても見にくくなっていますので、しっかりと書き直していただきたいものです。とはいえ、既往最大水位 S34.9.27 洪水 6.56m の記録は、豊川放水路完成の S40 以降破られていないので、塗り替える必要は無いのかも知れませんね。ただ、一昨年(2019年)の台風24号の時には、氾濫注意水位を超えて避難判断水位の 6.2m に迫ったのは記憶に新しいところです。川の水位と氾濫の危険性について、しっかりと注意喚起を要望します。